




プログラム名	焼き板作り		時間	2～3時間
ねらい	1 豊かな創造性を養うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 少年自然の家での活動の思い出とする。			
内容	スギ板を焼いて、自分の思う絵や字をアクリル絵の具で描いて作品を製作する活動			
対象	小学生以上	活動形態	個人	
活動可能人数	100名程度※それ以上は要相談		料金	1人220円
団体で準備する物	個人・・・軍手、新聞紙 ※必要に応じてマスク			
自然の家で準備できる物	スギ板、ひも、金具（ヒートン）、アクリル絵の具、筆、布巾、たわし、火ばさみ、きり、薪			
活動の流れ	1 集合 ・指定された場所に集合（入所時に確認） ・参加人員と健康状態の把握 2 事前指導【自然の家職員 約15分】 ・道具の準備 ※薪の火おこしは自然の家職員 ・説明および諸注意 実施方法、安全、マナー 等 3 活動 ①火ばさみを使いスギ板を全面焼く ・板が反ってくるので全面均等に焼いていく ・板に火がついた場合は、板を地面にぼんぼんと優しく叩く ②たわし・布巾で板の炭を落とす ・キズがつかないように枝や石が無い砂地等で落とす ※灰が舞うので、マスクを着用してもよい ③きりで二か所浅い穴を開け、ヒートンをつける ・ねじのように出来ているので軽く穴を開ける程度でよい ④新聞紙を敷き、絵の具で好きな絵や字を描く ・アクリル絵の具はパレットや水は使用しない。直接、絵の具ケースから使用する ・他の色が混ざらないよう筆は使用した色専用にする （例：赤色を使用した筆で赤色→○、赤色を使用した筆で青色→×） ・下地の色が乾いていれば、重ね塗りできる ⑤ひもをつけて乾かしたら完成♪ （半日程度）※乾かす場所は自然の家職員が案内致します。 ⑥片付け ・使用したものは一か所にまとめる 4 事後指導 ・人員確認および借用物の確認と返納		  	
留意点	1 やけどに注意する 2 灰が目・口・鼻などに入らないよう注意する 3 絵の具のふた閉めの確認、筆の洗い確認、机や床の汚れなどの確認 4 アクリル絵の具や灰で、衣服を汚さないように注意する			
引率者の役割	薪の補充、火の管理、絵の具・筆の片付け			